

# 生徒会への大いなる「期待」

これから先の社会は、今までとは比較にならないほど変化の激しい社会となることが予想されています。そのため、学校には、未経験なことに対しても柔軟に対応できる「これからの社会をたくましく生き抜く力」を身に付けた生徒の育成が求められています。

今までの経験則だけでは全くもって通用しない時代が、もう目の前までやってきています。未経験のことに対して、その場で考え、望ましい結論を導き出し、行動に移していかなければならない時代です。これに対応できる力を生徒が身に付けるための取組が学校に求められますが、この大きな鍵を「生徒会」が握っていると考えています。なぜなら、生徒会の機能である「自治」に、その力を身に付ける要素が多く含まれるからです。

生徒会は、学校で最も大きな組織です。421名の会員全員が本気になって考え、これまでの枠にとらわれずに、可能性を求めて自分たちの目指す学校づくりに取り組めば、叶わないことはほとんどありません。「目指す姿」の達成に向けて、自主的・主体的・自律的に頑張ることは、まさに、これから求められる力を自ら身に付けることに直結します。

そういった意味で、生徒会の活動に期待するところは大きいのです。

\*\*\*\*\*

## 期待① 先生方の出番を減らす意識と努力を！

今朝、今年度初の生徒朝会がありました。これに向けて、昨日、南雲会長と話をする時間をもちました。生徒朝会を行う目的や運営方法などについて話をする中で、「なぜ、開始時に全校生徒が校長に対して朝のあいさつをするのか」ということが話題になりました。

生徒朝会は、生徒が運営・参加の主体者であり、生徒会の自主性が発揮されるべき活動の一つです。そこに教職員の先導は必要ありません。問題があっても、それは生徒の力で解決すべきことです。そして、生徒会にはその力があると信じています。

このようなことから、朝のあいさつのやり方を変え、生徒がお互いに向けて、自分たちの活気を高めることを目的として行うこととなり、校長の出番はなくなりました。これはほんの一例です。「生徒会でできることは、自分たちの力でやるのだ」という心意気で、生徒会による「自治」を推進してほしいと思っています。



校長の問いかけに、真剣に考え、自分の言葉で答える南雲会長

令和3年4月27日

第3号

赤いマスクは、ある生徒からプレゼントされたものです。

## 期待② 豊かな「創意」で、生徒主体の学校づくりの推進を！

今年度の生徒総会が5月24日（月）に行われます。そこで審議する議案書が、本日、全校生徒に公開されました（紙ではなく、タブレットによるデータ配信です！）。

議案書にある生徒会スローガンに目がとまりました。

### 令和3年度 生徒会スローガン 開花 ～創意あふれる大中～

なんと素敵な、そして深い意味をもったスローガンでしょうか。自分たちの手で新しい大形中を創ろうという意欲を、このわずか数文字のスローガンから強く感じます。

「創意」とは、それまでの考え方やしきたりなどにとらわれず、物事を新しい見方で作り出す心の働きのことです。生徒会では、「自分から新しく考え出す力」と定義しています。生徒朝会の変革も、まさにこれに当たります。慣例や前例踏襲ありきの目的を見失った取組ではなく、自分たちの目指す学校づくりを見据えて、その実現のために知恵を出し、汗をかき、真に必要な取組を主体的に推進していきましょう。これも、生徒会の「自治」そのものですね。

今年度の大中生徒会が、どこまでの高さの山を目指して歩みを進めていくのか、とても楽しみです。



昼休みの評議員会で、議案書についての説明が行われました。